

平成 26 年度事業報告及び収支決算報告

I 平成 26 年度事業報告

平成 26 年度は、任意団体森林保全・管理技術研究会から継承した森林保全・管理技術研究開発事業については、「前期五カ年計画報告書」取りまとめ印刷製本するとともに、後期五カ年計画を作成しこれに基づき新たな研究課題等に着手したところである。また、実施体制の整備を図るために、賛助会員の募集、新たな公益事業の開拓等を進めるとともに、さらに、当研究所の公益的、中立的な立場を明確にし、業務の円滑な推進に資するために、平成 27 年 4 月 1 日付をもって公益社団法人森林保全・管理技術研究所と改組したところである。

1. 総会・理事会等

(1) 総会

1) 通常総会

開催日 平成 26 年 5 月 27 日 (月)

開催場所 日林協会館 4 階中会議室

議題 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告及び収支決算報告

第 2 号議案 平成 26 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案)

第 3 号議案 運営委員会委員選出(増員)

第 4 号議案 森林保全・管理技術研究開発事業後期五カ年計画

第 5 号議案 その他

2) 臨時総会

開催日 平成 26 年 9 月 5 日 (月)

開催場所 日林協会館 4 階中会議室

議題 第 1 号議案 (一社) 森林保全・管理技術研究所の公益社団法人化について

第 2 号議案 役員報酬規程について

第 3 号議案 諸規程の制定について

第 4 号議案 その他

3) 第 2 回臨時総会

開催日 平成 26 年 12 月 3 日 (水)

開催場所 日林協会館 4 階中会議室

議題 第 1 号議案 公益社団法人化に関わる定款変更について

第 2 号議案 その他

(2) 理事会

1) 第1回理事会

開催日 平成26年5月27日(火)

開催場所 日林協会館4階中会議室

議題 第1号議案 平成25年度事業報告及び収支決算報告
第2号議案 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)
第3号議案 その他

2) 第2回理事会

開催日 平成26年9月5日(金)

開催場所 日林協会館4階中会議室

議題 第1号議案 (一社)森林保全・管理技術研究所の公益社団法人化
について
第2号議案 役員報酬規程について
第3号議案 諸規程の制定について
第4号議案 その他

3) 第3回理事会

開催日 平成26年12月3日(水)

開催場所 日林協会館4階中会議室

議題 第1号議案 公益社団法人化に関わる定款変更について
第2号議案 その他

4) 第4回理事会

開催日 平成27年3月23日(月)

開催場所 日林協会館4階中会議室

議題 第1号議案 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)
第2号議案 その他

2. 事業報告

(1) 森林保全・管理技術に関する調査研究、技術開発

1) 前期五カ年計画報告書の作成

下記の内容について5カ年間の成果を取りまとめ、印刷製本して、関係行政機関、研究所、森林林業関係団体等へ配布した。

- (i) 森林保全・管理技術の現状と今後のあり方に関する調査研究
- (ii) 研究開発課題
 - ① 路網整備と森林施業（特に間伐）技術体系
 - ② 次世代高能率作業システム（特に搬出作業）に関する調査研究
 - ③ 災害対応技術の普及と災害対応体制の整備
 - ④ 森林整備（治山、林道を含む）に関わる環境調査
 - ⑤ 森林整備（治山、林道を含む）に関わる環境配慮指針
 - ⑥ 新たな森林施業に対応した水土保持技術手法の確立
- (iii) 森林保全・管理技術デジタル・アーカイブの作成
- (iv) 森林保全・管理技術の普及啓発

2) 後期五カ年計画の作成

- (i) 研究開発課題
 - ①-1 治山施設の点検・補修等手法の開発
 - ①-2 地すべり対策技術の現状と今後のあり方
 - ② 高能率作業システムと森林基盤整備のあり方
 - ③ 木材生産林における水土保持技術の確立
 - ④ 里山における森林整備のあり方
 - ⑤ 森林整備（治山、林道を含む）に関わる環境配慮の考え方
 - ⑥ 森林調査等におけるレーザ計測（航空・地上）活用手法の開発
- (ii) 森林保全・管理技術デジタル・アーカイブの作成
- (iii) 森林保全・管理技術の普及啓発

(2) 森林保全・管理技術に関する資料・文献の収集、整理保存及びその集積・分析

森林保全・管理技術デジタル・アーカイブのシステム開発を行うとともに、上記（1）の研究開発課題に関連する分野を中心にデータベース化を進めたところである。平成26年度末で約6,000件の資料・文献を収集している。

また、データベース化した資料・文献の検索システム等それらの活用方法についてシステムの開発に着手した。

(3) 森林保全・管理技術に関する情報提供、普及啓発

本年度は、「新たな森林施業に対応した水土保持技術手法の確立」について報告書を作成し、印刷製本して関係機関へ配布するとともに、CPD研修会でその成果を活用したところである。

(4) 森林技術者の専門技術の向上及び継続教育に関する支援

森林・自然環境技術者教育会(JAFEE)の森林分野 CPD と連携して、次の CPD 研修会を実施したところである。

① 森林技術者講習会(熊本)

日時：平成 26 年 7 月 4 日

場所：熊本市：ホテル熊本テルサ

講師・演題：山部義臣「森林土木工事等における品質確保対策について」

古賀忠直「森林と土砂災害について」

太田猛彦「森林の変遷とその機能の変化について」

② 森林技術者講習会(盛岡)

日時：平成 26 年 7 月 18 日

会場：盛岡市：盛岡観光文化センター

講師・演題：井良沢 道也「地域と共に創り上げる山地災害の減災を目指して」

織部 雄一朗「海岸防災林再生に向けた抵抗性クロマツ苗木生産の飛躍的向上」

島田 喜代司「仙台湾沿岸海岸防災林の復旧における生物多様性保全対策について」

③ 新たな森林施業に対応した水土保持技術手法研修会（東京）

日時：平成 26 年 11 月 7 日

会場：東京都：アルカディア市ヶ谷

講師・演題：北原 曜「土砂災害に強い森林づくり」

佐保 昇児「現地調査結果の概要（茨城県常陸太田市地内）」

田中 良明「数値地形情報を利用した路網選定プログラム」

鈴木 秀典「森林作業道からの土砂流出対策」

④ 次世代高能率作業システムと林内路網研修会（静岡）

日時：平成 25 年 11 月 22 日

会場：静岡市：JR 静岡駅ビル PARCHE7 階第 1 会議室

講師・演題：小林 洋司「路網と効率的な作業システム」

梅田 修史「地形・地質と路網体系」

仁多見俊夫「次世代機械化システムによる新林業」

鈴木 孝典「森林作業道からの土砂流出とその対策」

壁村 秀水「林業専用道作設技術」

鎌滝 晋「森林作業道の耐久性について」

(5) 科学技術についての技術者、研究者及び教育者等との連携による調査研究及び提言活動

(1) の調査研究、技術開発事業を通じて技術者、研究者及び教育者等との連携による調査研究活動を行ってきたところである。

(6) 行政施策又は社会貢献に資する公益性・中立性の高い調査研究及び技術指導

森林調査、測量設計等の業務について、実態把握を行うとともに技術指導等の可能性を検討したところである。

また、これらの事業を実施するための組織・体制の整備としては、事務室の移転を行うとともに、賛助会員の募集、人材の確保等に努めたところである。